

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス翔はばたき

支援プログラム（参考様式）

作成日

6年

10月

1日

法人（事業所）理念		障がいのある人も住み慣れた地域で暮らしていける様に、又、子ども達が健やかに自信を持って、社会の中でたくましく生きて行ける様に支援する。					
支援方針		遊びを基本として、療育につなげる。 5領域から本人の発達を支える支援を行い、季節のイベント等を取り入れ、豊かな心の育ちを支援する。					
営業時間		9時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	毎回の検温とその時の気分の把握など健康状態の維持。荷物整理、昼食、おやつ、排せつ、着脱、調理実習、ごっこ遊び、体験遊び、生活のリズムや生活習慣の形成、SSTによる基本的な生活スキルの獲得やABA（応用行動分析）による身体的、精神的、社会的訓練に取り組みます。					
	運動・感覚	バランスボールでの姿勢保持。ストレッチ、ラジオ体操等音楽に合わせて体を動かす遊びや運動、お散歩、水遊び、ボール遊び、かくれんぼ、おにごっこ、フルーツバスケット、だるまさんがころんだ等を取り入れ体力作りや身体のコーディネーション能力の向上、姿勢と運動の補助的手段の活用と向上、保有する五感の活用に取り組みます。感覚過敏用にイヤーマフ配し環境設定。					
	認知・行動	一日の時間帯活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知の形成。粘土やスライムによる物質の変化と感覚の認知の形成。ブロック遊びによる空間にある物体の位置や形、大きさ、方向などを認識する能力を形成。季節の変化への興味などの感性形成のための外出や行動やレクリエーション。天気、気温、日付や曜日の把握と、確認による感覚、数の認知形成に取り組みます。					
	言語コミュニケーション	かくれんぼや鬼ごっこ等の遊びからルールや決まり事を守り仲間とのコミュニケーションを図る。通所後とお帰りの前の挨拶、気持ちの言語表出や受容。小集団での障がいの特性に応じた読み書き。遊びやゲームのルールなどを絵や絵カードを使って視覚化に取り組みます。					
	人間関係社会性	見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びで様々な役割を演じることで人との関わり方や共感性、感情表現等を学び、言葉遊び等で言葉のキャッチボールをすることで自然とコミュニケーションをとることができ、役割分担のある遊び、ルールの理解が必要な遊びや集団活動で社会における秩序の重要性を理解したりフェアプレーの精神を養ったり、イベント等を通じた地域との交流に取り組み、コミュニケーションや信頼共感思いやり等の要素を意識して行動できるように取り組みます。					
家族支援		ご家族様の悩みや情報を共有し総合的な補助の和を広げたり、またご家族様の精神面でのケアや子育てに前向きな気持ちで向き合える様に取り組みより良い生活を目指します。			移行支援	社会に出る為のライフステージの切り替えを試み、自立支援や医療体制整備などの課題に取り組み移行期ケアを促す。	
地域支援・地域連携		児童やご家族様が地域で適切な支援を受けられるように学校や病院、行政などの関係機関と連携し情報を共有しながらより良い支援を行います。			職員の質の向上	スタッフの能力やスキルを向上させるために外部研修や事業所内研修など様々な研修の機会を提供し総合的な支援の推進を図り事業所としての支援を提供します。	
主な行事等		初詣、お餅つき、お花見、いちご狩りやぶどう狩り、ハロウィン祭り、バリアフリーマラソン、年に4回程度の遠足、クリスマス会などの季節のイベント					